

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕
秋まきコカブにおける有望品種の選定

沼尻勝人・荒木俊光・海保富士男
(商品開発科)

【要約】秋まきコカブの有望品種は、生育、品質、球の揃い、在圃性が長いことなどを総合すると‘ゆきわらし、白寿、万寿’である。

【目的】

都内のカブ栽培は作付面積 89ha、収穫量 2,330t である。主な生産地である八王子市、清瀬市、東久留米市では市場出荷が多く、町田市では直売を中心に栽培している。本試験では、市場出荷・直売用ともに栽培の多い秋まきの作型でコカブの有望品種を選定する。

【方法】

供試品種は‘きらりのゆめ’他 9 品種とした。2006 年 9 月 21 日にベッド 70cm、通路 50cm、条間 15cm の 4 条播き (27,800 株/10a) で播種した。間引きを 10 月 13 日および 10 月 17 日に行い、最終株間は約 12cm とした。施肥は N-P₂O₅-K₂O を各 10kg/10 a 施用した。播種後、寒冷紗によるトンネル被覆を行い、10 月 27 日に除去した。区制は、1 区長さ約 9m の 2 連制とし、収穫調査は、各区 20 株を対象に行った。病虫害防除は、防除指針に従い適時行なった。

【成果の概要】

- 1) 球の揃いが良いものは‘白寿、ゆきわらし、万寿、小雪丸’である。なお、‘白寿’は他の品種に比べて葉身部が長く、葉数は多い(表 1)。また、‘ゆきわらし’の葉は、鮮やかな緑色で軟らかそうな外観であるのに対し、‘小雪丸’は濃緑色でしっかりとしている。
- 2) ‘白寿、ゆきわらし、万寿、小雪丸’の葉は、立性で毛じが少なく、曲がり小さいが、‘小雪丸’は腰高で毛穴がやや深い。‘白寿、ゆきわらし、万寿’は、偏円で毛穴は並である(表 2)。
- 3) 週ごとに収穫調査を続け、根部の肥大性や葉色の変化から在圃性をみたが、‘白寿、ゆきわらし、白馬、万寿、小雪丸’は、葉色の退色程度は小さく、急激な肥大はみられず在圃性は高い(図 1)。なお、いずれの品種も、す入りや裂根はほとんどみられない。
- 4) 以上より、本作型でコカブ 9 品種を栽培したが、生育、品質、球の揃い、在圃性が長いことなどを総合すると‘ゆきわらし、白寿、万寿’が有望品種である。

表1 秋まきコカブの生育

品種	種苗会社 ^a	全重 (g)	球重 ^b (g)	葉長 (cm)	葉柄長 (cm)	葉数	首径 (cm)	球高 (cm)	球径 ^c (cm)	主根径 (mm)	主根長 (cm)	葉色 (SPAD値)
きらりのゆめ	日	216	132 (35)	40	16	13	31	51	66 (12)	3.9	11.4	29.7
たかね	サ	205	113 (35)	40	19	12	30	47	66 (12)	4.6	11.6	28.1
雪だるま	渡	202	104 (40)	41	16	11	30	47	63 (13)	4.4	11.3	30.3
白寿	武	239	104 (30)	46	17	15	38	48	63 (11)	6.1	14.4	28.7
白統	武	184	99 (38)	40	15	11	28	44	62 (13)	4.3	11.0	30.1
ゆきわらし	カ	195	98 (30)	41	20	11	34	47	63 (10)	5.9	11.3	25.7
白馬	武	195	90 (33)	44	20	14	33	47	61 (10)	4.9	12.2	29.0
万寿	武	199	88 (30)	43	19	12	36	45	60 (11)	5.7	12.5	29.5
小雪丸	タ	180	87 (29)	41	20	11	31	50	57 (10)	5.0	11.2	32.3
毬姫	み	147	69 (39)	42	21	12	26	43	57 (12)	6.0	11.7	29.8

注)9月21日播種, 11月10日調査, 上物は球径4cm(S級)以上で変形や裂球がないものとし, 上物率90%以上の品種を記載.

a) 日: 日本農林社, サ: サカタのタネ, 渡: 渡辺採種場, 武: 武蔵野種苗園, タ: タキイ種苗, み: みかど育種農場

b,c) ()内の数字は変動係数.

表2 秋まきコカブの特性

	葉部				根部				
	開張度	毛じ ^a	葉形	曲がり ^b	抽根性	根形	色	光沢	毛穴
きらりのゆめ	中	少	中	小	大	偏円	白	有	浅
たかね	中	少	中	中	大	やや偏平	乳白	有	深
雪だるま	立	並	広	中	大	偏円	白	有	並
白寿	立	少	細	小	大	偏円	白	有	並
白統	中	少	中	中	大	やや偏平	乳白	有	並
ゆきわらし	立	少	中	小	大	偏円	白	有	並
白馬	立	少	中	小	大	偏円	白	有	並
万寿	立	少	広	小	大	偏円	白	有	並
小雪丸	立	少	中	小	大	腰高	白	有	深
毬姫	中	並	中	中	中	偏円	白	有	並

a) 最大葉の表面における毛の多さ, b) 葉の曲がり程度

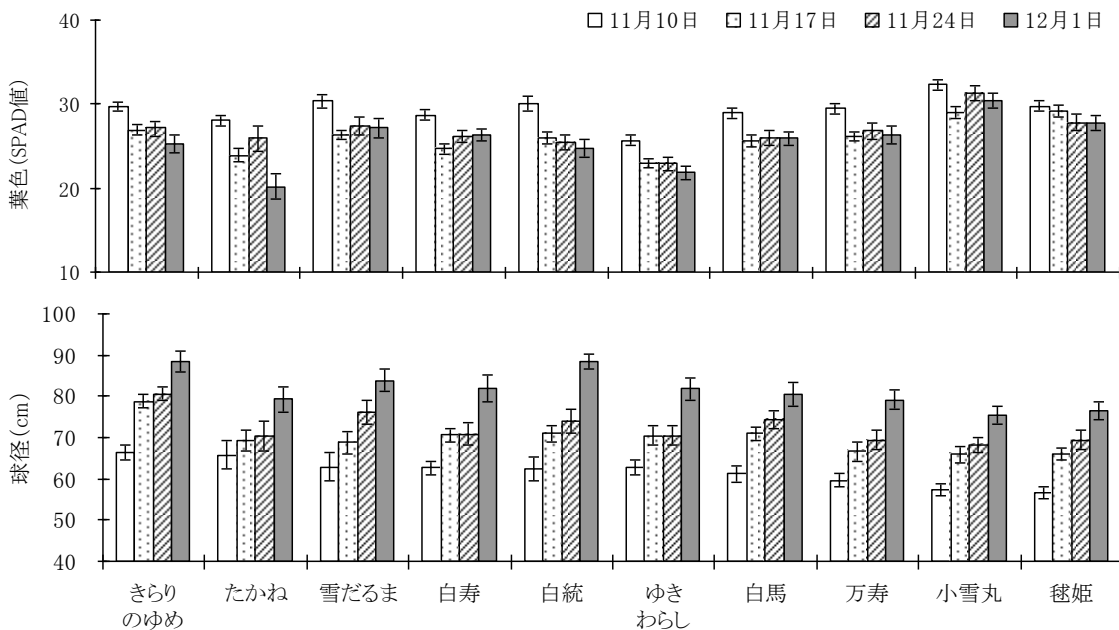


図1 秋まきコカブにおける葉色および球径の推移

注) グラフ中のバーは標準誤差 (n=20)